

研修会・講習会

2015年(冬)スキルアップ研修会 参加報告

----- 「スキルアップ研修会に参加して」 サッカー アクティブ3級審判員：仲上 公章 -----



「刺激された貴重な時間」
と語った
仲上 公章 審判員

2015年9月に3級(昇級)資格認定講習会を受講し、無事に資格は取得できたものの、審判員として試合前から試合終わりまでの行動、レフェリング等の実技に関して今まで受講経験がなく、このままでは我流になってしまうと悩んでいたとき、北播協会の方にこの研修会を紹介され参加を決めました。

元々、知識・経験もほとんどない私でしたので、恥を承知の上で参加させていただいたのですが、自身でも分かる内容の悪さに他の受講生の方々にご迷惑をおかけしました。

しかしながら、インストラクターの方々はもとより、若い受講生の方々にも親切丁寧に教えていただき、また今回の研修テーマが「チャレンジ」だったということもあり、何かひとつでも持ち帰ってやろうという思いに変わっていきました。

研修に参加するまでは「審判員は走り、できるだけ近くで見ることが正義」だと思い活動していましたが、「そこで何か起こりそう。だから、(自分が見たいものがあるから)そこに行く。認知→決断→実行というように意識が変われば良くなる」と指導されときには、ただ、やみ雲に走っていただけだと痛感しました。

今回の研修では、大変多くのことを学ばせていただき、また、多くの審判員の方々に出会え、刺激された貴重で新鮮な時間でした。

インストラクターの方に「2級になると世界が変わりますよ」とも言われました。こなさないといけない課題は山ほどありますが、いつか昇級できる日を夢見て、自己研鑽に励みたいと思います。

最後になりましたが、参加にあたりご指導、ご支援を頂きました兵庫県サッカー協会・淡路サッカー協会の関係者の方々に心より感謝し、お礼を申し上げます。

----- 「スキルアップ研修会に参加して」 サッカー 4級ユース審判員：竹森 一樹 -----



「心構えが大きく変化」した
竹森 一樹 審判員

今回のスキルアップ研修に参加して、自分の中での審判に臨む態度や心構えが大きく変化しました。

これまでは、選手の延長という目で判断をしがちなところがありました。しかし、研修で映像を見たり話を聞くことで、選手とは異なる判断基準や審判としての心構え、ゲームを円滑にコントロールするという点について重要だということに改めて確認しました。

また、実際に審判として試合に参加して、ファウルについての認識やどの部分に着目して判断するかということが理解することができました。



試合後は宿舎へ移動
研修は夜まで続く…

今では、Jリーグや海外リーグの試合などを見ると、選手のプレーだけでなく、審判の動きにも目がいくようになりました。国際レベルの審判のすごさが、自分が審判として参加してみて、本当によくわかりました。

現在は、選手としての活動を中心にしています。しかし、この研修に参加して、審判としてのレベルアップだけでなく、選手として普段審判がどのように選手のプレーを見て、ファウルについて判断しているかということも多少理解できたので選手としてのプレーに活かしていきたいと思います。

これから、試合などに審判としても積極的に参加し、審判スキルをさらに向上させ、今回の研修が自分のこれからのサッカー人生に役立っていたと思えるようになりたいと強く思いました。

----- 「スキルアップ研修会に参加して」 サッカー 3級コース審判員：藤 真悠子 -----



「沢山のことを吸収」できた
藤 真悠子 審判員

今回のスキルアップ研修会に参加し、私は沢山のことを吸収し沢山のことを見て学ぶことができた、内容の濃い一泊二日になったと思います。

一日目は緊張していて他の審判員の方ともお話することがあまり出来なかったのですが、懇親会後からはコース審判員とも積極的に話することができ、横のつながりも積極的に作ることができたと思います。

初日の割り当てを見たとき正直「嘘!？」って思いました。沢山のインストラクターの方々がいらっしゃって、それもメインランドでの準々決勝。今回の目標は「①手のファウルをしっかりと見ること②長い距離を走ったからと満足するのではなく、ゴール前などしっかりと見なければならぬ地点へ足を止めることなく移動（体を動かす）すること。」の二つでした。試合に入る前はガチガチに緊張していました。両チームとも縦への速攻をメインにしているチームでいつもよりも距離が長かったような気がします。

この試合では反省すべき点、改善すべき点、良かった点など沢山のことを吸収することができました。

[反省すべき点]

ファウルスローを未然に防ぐことが出来なかったことです。

審判は起きた事象には必ず対応しなければなりません、その事象を起こさないように未然に防ぐのも審判員のしなければならないことだと思います。

ボールがタッチラインを割り、出た地点と違う場所からスローインを始めたことで、私はファウルを取り相手チームにスローインを与えたのですが、選手たちはなぜ相手ボールから始めるのか理解してもらえなかったのだと思います。

このようなファウルを私はこの試合で5つほど適用しましたが、初めの方で選手にポイントが違ふというこ



試合・講義・懇親会で、
多くの経験/交流/発見がありました



先輩審判員の活躍も間近で見ることができました



女性審判員の方々と



＜ 全員で映像を見ての振り返り ＞

あるシーンを取り上げ、考える場面を作り、レフェリング分析とディスカッションを実施。競技規則と照合しながら判定精度を上げる。

とを知らせるのは、声では聞こえづらく聞いてもらえないということに気づき、笛を使うなどの対応が出来れば良かった、と後で思いました。

[改善すべき点]

笛の音です。

前半終了時の笛はだれがみても終わったと分かる笛ではなかったです。

[良かった点]

スプリットをしっかりかけることができ、一試合を通してそのことを言えることです。

この部分に関しては今後も自信を持ち、もっと体力をつけ40分ゲームでもできるようにしたいです。

[吸収できたこと]

holding に関することです。

この試合では両チームともFWのキープ力はすごかったので、DFの手が肩に掛かるだけなら影響はないと考えていました。しかし反省会で梶原インストラクターから「holdingはすべて故意にしているものである」と教えて頂きました。今度はしっかりそのことを頭にいれ、レフェリングしたいです。

[第四の審判員として]

次の日、私は初めて4thをしました。

今回は反省すべき点多すぎて、良いところは一つもなかったと思います。

試合中、両チームのベンチから判定に関する異議や怒りを表すゼスチャーを前面に出している場面があり、それらを横で見ているながら私がうまくベンチコントロールをできなかったことが一番の心残りです。

幸い松井インストラクターがすぐ傍でサポートしてくださったため、パニックになることはありませんでしたが、今後同じ場面に遭遇した時に対処できるようこの反省点を活かし、経験を積んでいきたいと思いました。

[講義とまとめ]

初日の夜の反省会では一試合目の映像を見た中で、同じ受講生の足立審判員のアドバンテージがとても頭に残っています。私なら反則があった場面ですぐに笛を吹いてしまっていると思います。普段からアドバンテージを適用する際に躊躇してしまう私にとって本当に参考になり、いい影響となりました。

また、夜の講義もとても興味深いものでした。憧れても憧れきれないJリーグ審判員の講義を聞けるなんて、本当に光栄で興味深いものでした。

私にとってこの二日間とても意味のあるものになりました。

今度インストラクターの方々に会うときは、一回り成長した姿を見せられるように日々努力したいと思います。



参加審判員とインストラクター [集合写真] : 審判スキルと団結力が更に向上した研修会となりました



競技規則の理解 (予習・復習・確認)



試合 (実践)



分析/評価/指導

[編集後記] :

各都市協会ならびに女子部・高体連からの推薦・ご協力の元、本研修会は成功裏に終わりました。
参加された各審判員からも報告書が届いておりますが、今回は3名のみの掲載とさせていただきます。
※本研修会の案内と日程は、次ページに掲載。

以上

～2015年度3・4級審判員スキルアップ研修会～

参加者募集のご案内(女子は2～4級審判員対象)

兵庫県クラブユースU14新人戦の決勝トーナメントにて、1泊2日の宿泊研修会を行うことにより、3・4級審判員と女子2～4級審判員のスキル底上げを行うと共に、将来的に上級を目指せる審判員の発掘を行う。現役の、1級・女子1級・2級カテI審判員をインストラクターとして招き、2日間を通し、実技、ビデオ分析、講義、ディスカッション等、経験から語れるアドバイスをを行い、参加審判員の技術と知識向上を狙う。

日時/会場

- 12/12(土)・13(日)の1泊2日/会場はアスパ五色(淡路島)

集合場所・集合時間

- 地下鉄学園都市駅・北側タクシーロータリー前 7:15集合

参加対象審判員

- 3・4級審判員・女子審判員(女子は2～4級)/各都市協会推薦のU30審判員(3・4級審判員)

申込方法

- 「KICKOFF」にて申込(審判→講習会・研修会)
- 申込受付期間 2015年10月26日(月)～11月30日(月)

参加費

- 参加費は不要。交通費・宿泊費は実費。ユース審判員の交通費と宿泊費は審判委員会負担。※審判費あり

テーマ

- 押さえる反則と、つまづかせる反則(競技者の意図を見極める。倒れ込みなのか反則なのか)

インストラクター

- 山本弘之(チーフ) 川崎秋仁 松井健太郎 野村修 的崎睦子 梶原彰一 浦元雄一郎 堀善仁

その他

- 1、詳細は参加者確定後、後日連絡
- 2、2日間ともアスパ五色会場のみで開催
- 3、全試合研修審判員で割当予定(4THも割当予定)
- 4、プラクティカルトレーニングなし
- 5、競技規則(筆記)テストあり
- 6、全試合ビデオ撮影・実技指導予定
- 7、内容は、実技指導、ビデオ分析、講義、ディスカッション他
- 8、インストラクターのオブザーバー参加可能(実費)
- 9、基本、1泊2日間の参加であることが前提
- 10、参加時の服装はフォーマル(ユースは制服可)
- 11、持ち物は、審判用具一式・宿泊の用意・筆記用具・競技規則
- 12、運営(高倍剛・國野徹他)

***** 本件に関する問い合わせ先 *****
(一社)兵庫県サッカー協会 審判委員会・強化育成部 川崎秋仁

【日程】

2015年度3・4級審判員スキルアップ研修会

女子は2～4級審判員対象

一般社団法人兵庫県サッカー協会 審判委員会主催		担当：川崎秋仁（強化育成部）	日程	2015年12月12日（土）・12月13日（日） （1泊2日）
会場	試合会場・研修会会場	アスパ五色（五色台運動公園）		
	宿泊ホテル	ウエルネスパーク五色 洲本市五色町都志1087 / 電話0799-33-1600		
大会	兵庫県クラブユースU-14新人戦（決勝トーナメント）			
テーマ	押さえる反則と、つまずかせる反則（競技者の意図を見極める。倒れ込みなのか反則なのか）			
目的	兵庫県クラブユースU-14新人戦（決勝トーナメント）にて、1泊2日の宿泊研修会を行うことにより、3・4級審判員と女子2～4級審判員のスキル底上げを行うと共に、将来的に上級を目指す審判員の発掘を行う。現役の、1級・女子1級・2級カテゴリー審判員をインストラクターとして招き、2日間を通し、経験から語れるアドバイスをを行い、参加審判員の技術と知識向上を狙う。			
インストラクター	山本弘之（チーフ）・川崎秋仁・小屋幸栄・松井健太郎・野村修（1級審判員）・的崎睦子（女子1級審判員）・梶原彰一・浦元雄一郎・堀善仁・三木章嗣・深井佳晶（2級カテゴリー審判員）			
参加審判員	合計28名（※別紙参照）			
オブザーバー	一般社団法人兵庫県サッカー協会審判委員会 各部長 / 各都市協会審判委員長 / インストラクター部員			
運営・協力	淡路サッカー協会審判委員会			
月日	時間	日程の概要	服装	フォーマル（学生は制服）
12月12日（土）	7:15	地下鉄学園都市駅・北側タクシーロータリー前集合	移動手段は審判委員会にて手配します。 公共交通機関で地下鉄学園都市駅までお越しください。	
		アスパ五色（五色台運動公園）へ移動		
	8:45	開講式・挨拶・説明・大会要項確認	アスパ五色（五色台運動公園）クラブハウス 2階会議室	
	9:15	会場ごとに試合の準備	担当：各インストラクター	
	10:30	1試合目（メイン・サブ・クレー2面で各1試合ずつ計4試合）	審判割当は当日発表	
	11:50	2試合目（メイン・サブ・クレー2面で各1試合ずつ計4試合）	試合終了後、担当インストラクターによる、映像を用いたレフェリング分析を実施（6試合目の終了予定時刻は、15:30）	
	13:30	3～6試合（クレー2面で各1試合ずつ計8試合）		
	16:15	宿舎へ移動		
	16:45	入浴・休憩		
	18:00	夕食		
	18:45	競技規則テスト	担当：野村	
	19:15	研修会①（各試合から共有すべきシーンの発表）	担当：浦元・堀・三木・深井	
	20:30	研修会② Jリーグ担当審判員として	担当：川崎	
	21:30	自由時間		
22:00	就寝			
12月13日（日）	6:00	起床・モーニングトレーニング	担当：佐野	
	7:00	朝食		
	8:00	アスパ五色（五色台運動公園）へ移動		
	9:00	会場ごとに試合の準備	担当：各インストラクター	
	10:00	1試合目（メイン・サブで各1試合ずつ計2試合）	審判割当は当日発表（30分ハーフ・延長なし・PKあり）	
	11:20	2試合目（メイン・サブで各1試合ずつ計2試合）	試合終了後、担当インストラクターによる、映像を用いたレフェリング分析を実施	
	12:40	3試合目（メイン・サブで各1試合ずつ計2試合）		
	10:30	1～6試合（クレー2面で各1試合ずつ計12試合）	6試合目の終了予定時刻は、15:30	
	16:00	閉講式・まとめ		
16:15	地下鉄学園都市駅へ移動	移動手段は審判委員会にて手配します		
17:45	地下鉄学園都市駅（到着後解散）			